



# Topics

トピックス



## 第64回 釧路管内消防団員技能競技大会

令和元年9月14日、「第64回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会」が釧路市消防訓練場で開催され、管内9消防団から「小型ポンプの部」に13チーム、「消防ポンプ自動車の部」に12チームが出場し、訓練の成果を競い合いました。小型ポンプの部では鶴居消防団（第4分団）が優勝、川湯消防団が3位に入賞、消防ポンプ自動車の部では鶴居消防団第1分団が準優勝と好成績を収めることができました。

### 小型ポンプの部 鶴居消防団 優勝



### 消防ポンプ自動車の部 鶴居消防団 第1分団 準優勝



### 小型ポンプの部 川湯消防団 第3位



### 競技結果

<b>消防ポンプ自動車の部</b>	<b>小型ポンプの部</b>
優勝 厚岸消防団第1分団	優勝 鶴居消防団B
準優勝 鶴居消防団第1分団	準優勝 厚岸消防団第3分団
3位 白糠消防団第1分団	3位 川湯消防団

## 北海道防災総合訓練 弟子屈

令和元年10月18日、釧路・根室地区で道主催の「北海道防災総合訓練」が実施され、釧路地区では弟子屈消防署を拠点とした訓練が執り行われました。長雨が3日間続いた後、弟子屈町奥春別地域を震源とする震度6強の内陸直下型地震が発生したことを想定とした訓練を行い、土屋北海道副知事をはじめ、弟子屈町、各関係機関や地域住民、消防、自衛隊など約330人が参加しました。消防による消火活動や要救助者の救出訓練、自衛隊による炊き出しやヘリコプターでの輸送訓練、ハイブリット自動車からの電力供給の他、情報伝達訓練としてFMくしろによる特別番組の中継などが実施され、各関係機関との連携を確認しました。



▲はしご車からの高所放水訓練を見学する住民の様子



陸上自衛隊による架橋の様子▶



▲自衛隊による炊き出しの様子

▼通信会社による移动通信局の様子



## 日本消防協会から消防団活動車が寄贈



令和元年12月5日、公益財団法人日本消防協会より消防団員等福祉増進事業の一環として弟子屈消防団に「防災活動車」が寄贈されました。この車両は歳末警戒や火災予防運動などの啓発活動をはじめ、アトサヌプリ火山噴火時の避難誘導や風水害等の自然災害での人員・物資の搬送など緊急車両として活用されます。



道の観客より多くの声援が送られました。令和2年の無火災及び住民の安心安全を願い、消防職団員一同団結を固め更なる職務の遂行を誓いました。

鶴居



車両・機械器具点検の様子

川湯



はしご乗りの様子

令和二年

## 消防イベント

平成31年4月28日、「第6回消防キッズフェア」を盛大に開催しました。当日は天候にも恵まれ、親子連れ約100人が来場する中、開会セレモニーでは38匹のこいのぼりに防火の願いを込め、子ども達と一緒に力を合わせ揚げることができました。会場内では、新アトラクションの消防スライダーや段ボール迷路をはじめ、弟子屈消防署の協力によるはしご車の搭乗体験が人気を博していました。また、ストラックアウト、消火器体験、緑日コーナー、防災展示コーナーなどを通して子ども達に楽しく消防や防火について学んでもらうことができました。

### 第6回消防キッズフェア



消防スライダー

### 第29回防火祭 標茶

令和元年7月28日、標茶町駒ヶ丘公園にて「子どもの夢を育てる祭り」に併せて「第29回防火祭」を開催しました。今年は各ブースの体験によるスタンプラリーを実施し「総合案内」、「ちびっこレスキュー」、「ミニ消防車試乗」、「レスキュー腕相撲対決」、最後のくじ引きコーナーは終始大盛況となりました。



レスキュー腕相撲対決の様子



ちびっこレスキューの様子

### 第24回防火フェスティバル

弟子屈



園児による「よっちょれ演舞」の様子



令和元年9月21日「第24回防火フェスティバル」を弟子屈消防庁舎で開催しました。地域住民の防火意識の高揚を図ることを目的とし隔年で実施しています。放水体験やはしご車乗車体験などの各種体験コーナーに加え、認定こども園ましゅうの園児による「よっちょれ演舞」、吹奏楽少年団による演奏やI&Mバトンスタジオによるダンスが披露されると来場者からは大きな声援が寄せられていました。また、恒例のお楽しみ抽選会では会場に歓声が響きわたり多くの親子連れで賑わいました。

### 磯分内少年消防クラブ視察研修 標茶



令和元年8月1日、磯分内少年消防クラブは自衛隊釧路駐屯地で視察研修を行いました。研修では自衛隊の特殊車両に試乗したり、釧路駐屯地の歴史や業務内容について話を聞きました。また、各災害時の出動についての説明を受けクラブ員にとって、とても有意義なものとなりました。



出初式

釧路北部消防事務組合、年頭の恒例行事である消防出初式が令和2年1月4日弟子屈、5日標茶・鶴居、6日川湯において行われました。各署で観閲式、分列行進、伝統のはしご乗り・まとい振りが披露され沿

弟子屈



分列行進(ラッパ隊)の様子

標茶



まとい振りの様子

第45回 釧路北部消防事務組合総合演習

令和元年5月19日、第45回釧路北部消防事務組合総合演習が標茶町で開催されました。演習には組合内の消防職団員230名、車両13台が集結し、観閲式や分列行進、模擬火災訓練等を行いました。標茶町開発センターで行われた模擬火災訓練では組合職団員が一丸となり、実戦さながらの消防活動を披露しました。



北海道消防協会釧路地方支部 女性消防団員研修 鶴居村



令和元年5月26日、北海道消防協会釧路地方支部主催による釧路管内女性消防団員研修会が鶴居村総合センターで開催されました。釧路管内6消防団から女性消防団員49名が参加し、敬礼などの基本的な訓練や、昨年度に続き隊形変換を含む行進間訓練が行われました。各団員は団体行動をとる上での必要不可欠な団結力及びチームワークの向上を目指し、熱心に取り組んでいました。

女性消防団員による防火査察 標茶



女性消防団員による単身高齢者を対象とした防火訪問を実施しました。火を使用する際の注意点や困っている事など聞いて対話を交えて指導しました。女性特有の柔らかな対応は地域に安心を与え、また毎年実施することで地域情報の更新も図られています。

女性消防団員による単身高齢者を対象とした防火訪問を実施しました。火を使用する際の注意点や困っている事など聞いて対話を交えて指導しました。女性特有の柔らかな対応は地域に安心を与え、また毎年実施することで地域情報の更新も図られています。

防火パークゴルフ大会 弟子屈

令和元年9月3日、川湯地区において「防火パークゴルフ大会」を開催しました。この大会は地域の親睦を深め、住民同志が協力し合える地域防災組織の強化を目的として実施しています。競技終了後には、職員により消火器と住宅用火災警報器の設置推進やAEDの取扱説明を行い、地域住民の防火、救命への意識向上を図りました。



消防団活動表彰



前列右から1番目 鶴居消防団 小野寺 副団長

令和元年12月22日、東京都の総務省において消防団地域活動表彰式が執り行われました。鶴居消防団は「消防キッズフェア」や「単身高齢者査察」など地域に密着した防災活動により地域の安全・安心に大きく貢献したことが評価され、受章に至りました。表彰式には小野寺正幸副団長が出席し、消防庁長官から表彰状が授与されました。

第48回全道救助技術大会に出場

令和元年7月20日、札幌市消防学校において「第48回全道消防救助技術訓練指導会」が開催され、全道各地から集まった救助隊員約250名が全国大会への出場権獲得を目指し、日頃の訓練成果を発揮していました。

鶴居消防署から「ほふく救出」、「ロープブリッジ渡過」の2種目の競技に出場しました。結果は両種目とも全国大会の出場は叶いませんでしたが、「ほふく救出」では減点なく競技を終え、大会長表彰を受賞しました。

この大会では、全道の消防救助隊員と救助技術を競い合い、技術力や精神力など多くのものを得ることができました。



(前年度) 消防庁長官表彰 表彰旗受章 標茶消防団・鶴居消防団

平成30年度の消防庁長官表彰において、標茶消防団と鶴居消防団に表彰旗が授与されました。この表彰旗は消防力の拡充強化、消防職団員の教養及び火災の予防等が優秀で他の模範と認められる消防機関に授与されるもので、表彰式は例年、3月7日の消防記念日にちなんで行われます。



※この記事は前年度に表彰を受けた内容のものです。前年の本紙(4月発行)の掲載には間に合いませんでしたので、今回ご紹介いたします。



災害時の連携を確認!



重機を使用した建設業協会との連携訓練

令和元年11月16日、鶴居村、鶴居村建設業協会、鶴居消防署・鶴居消防団合同で、災害時における応急活動訓練が行われました。平成26年に村と建設業協会が災害時協力協定が結ばれてから2回目となるこの合同訓練は、災害発生時の協力要請方法の確認及び連携強化を図ることを目的として実施されました。今回は解体予定である建物を災害時の倒壊家屋に見立てて救出活動をするなど、より実戦に近い訓練を行うことができました。

消防職員意見発表会出場

令和2年1月17日、釧路市において「第44回道東地区消防職員意見発表会」が開催され、釧路管内の代表として鶴居消防署の加藤大輝副団長が出場しました。「行動が命を救う」との題名で「一般市民も災害現場

で瞬時に行動し助け合うことができる未来に向けて、VRを活用した救命講習など自分たちにできることはなにかを考え、応急手当の更なる普及と充実を目指していく」という発表でした。今後この発表の実現を図り地域の救命率向上に活かされることが期待されます。



鶴居消防署 加藤大輝副団長

災害支援車が寄贈(平成31年4月)

川湯在住の小泉 裕様より、ステーションワゴン車(8人乗り)が寄贈されました。消防職団員の輸送や災害時の避難者の搬送など、幅広い場面において活用していきたいと思っております。小泉様のご厚意に、心よりお礼申し上げます。

釧路北部消防事務組合

ホームページ <http://kushirohokubu.com/>  
フェイスブック <https://www.facebook.com/kushirohokubu/>  
ホームページのQRコードはコチラ



平成31年(令和元年)度 消防アラカルト

